



時代を織りつづけて130年



株式会社 タケヤリ

710-0146 岡山県倉敷市曽原414
<http://takeyari-tex.co.jp/> 086-485-1111

在籍する職種 営業 / 企画 / 広報 / 事務 / 技術職

シンプルだからこそ、無限にある可能性。

1888年に武鐘石五郎が、機織の名手であった梅さんと結婚して織物業をはじめてから、約130年という長い歴史を持つタケヤリ。1968年にベルギー製のシャトル織機ピカノールを導入し、他社では織ることの出来ない極厚な1~3号の上質帆布を生み出しています。合織帆布などの生産も行い、全国で帆布生産量約7割を占める倉敷市の中でもトップクラスの生産量を誇ります。

帆布は、跳び箱や体育マットなどに使用され、誰もが一度は触れたことのある織物。「シンプルがゆえに、その可能性は無限大。」新しいことに次々と挑戦しています。それまでの工業用製品に加え、2010年には小売部門であるリテールディヴィジョンを立ち上げ、タケヤリの機屋としての特徴を生かしたファクトリーブランドで帆布バッグの展開や他社ブランドのOEM生産、生地加工などを行っています。

「熟練工の職人をはじめ社員全員が生地メーカーとしてのプライドを持ち、いつでも安定したクオリティーのものづくりができるように心掛けています。」大きく重さのある

箆で強く打ち込むことで生まれる高密度で美しい帆布は、シンプルなのに奥深い。世界中探してもここでしか織ることができないオンリーワンの製品です。



タイガー帆布を使用したワンショルダーバッグ、バックパック。日常使いに最適な帆布を追求したタイガー帆布9号を使用しています。味のある風合いで、使うほどに馴染んでいきます。また、自衛隊のテントにも使用される強力なパラフィン(ロウ)加工を施すことで、帆布本来の風合いを残しつつ、コットンとは思えないほどの撥水性を実現しています。